

サークル・サークル

Vol.77

市内で活動、活躍する
団体・サークル・チーム
などを紹介



市陸上競技協会

メンバー54人(3月26日現在)
会長：安藤 徹=共新=

◎結成何年目？きっかけは？

結成して17年目です。それまではそれぞれの町村で活動していましたが、合併の時期に合わせ、平成18年2月24日に結成しました。

◎活動の内容は？

普段の練習は個人練習で、それぞれに任せています。毎年、盛岡市内一周継走や一関・盛岡間駅伝競走大会の前には合同練習を計画し、選手が集まる機会を作っています。その他に、市の健康マラソン大会やスポーツ少年団駅伝祭りなどの役員として活動しています。



大会に向けて練習に励むメンバー

◎活動の魅力は？

走り終わった時

の達成感や記録が伸びた時のうれしさは格別です。ランニングが大好きな人の集まりなので、それぞれが県内外の大会に積極的に参加し、より良い記録や順位を目標にそれぞれ楽しんで走っています。

◎今後の目標は？

毎年11月23日に行われている一関・盛岡間駅伝競走大会は、郡市対抗のため市の代表として参加し、去年は20チーム中17位でした。そのため、一つでも順位を上にという目標をもって頑張っています。

◎活動日時・場所は？

活動する日は連絡を取り合って日時を決めています。合同練習は主に市運動公園多目的グラウンドや滝沢森林公園で練習しています。

目標に向かって頑張る事が好きな人や運動で汗を流すのが好きな人など市内出身者を中心に女性会員も募集しています。

■問い合わせ先 事務局 藤原(☎74-2353)

地域おこし協力隊だより Vol.108



今月の担当
としや
金野 利哉 さん

春の陽気に誘われて駆け込みでスキーをし

てきました。八幡平市に移住してからスキーをはじめましたが、滑り降りるというより転がり落ちていく感じがしています。今シーズンはまだ少し早いうちから行きたいと思います。

3月27日に地域おこし協力隊の活動報告会を行いました。内容は①市公式LINEの1年間の成果と今後の開発を含めた展望について②救急のアプリケーションについて③協力隊卒業後についてを、たくさんの方の前で発表。市公式LINEについては、皆さんからももらった意見を参考に、よりよいものにできるように運用改善と開発を今

年度も継続していきます。救急のアプリケーションについては、僕だけでは知識も技術も足りませんが、さまざまな分野の人たちと協力することで順調に進んでいます。

地域おこし協力隊を卒業した後は、IT会社を市起業家支援センターに設立して仕事をしていく予定です。本年度は活動が忙しくなると思いますが、さらに楽しく皆さんの役に立てるような活動をしていきたいと思っています。



1年間の成果をまとめ、活動報告会に臨む金野さん

